

日本図書館文化史研究会
2007年度第3回研究例会のご案内

2007年度第3回研究例会を、西日本図書館学会との共同開催で、下記のように実施することになりました(西日本図書館学会は、2007年度図書館学セミナーとして実施します)。

例会終了後には、懇親会を共同開催します。また、例会翌日にはオプションツアーを計画しました。多くの方の参加を期待します。

記

- 日 時： 2008年3月1日(土) 13:45~17:15
 - ◆ 当初の予定より、日程が1週間繰り上がりましたので、ご注意ください。
- 会 場： 山口県立山口図書館 1階レクチャールーム
山口市後河原150-1 (<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/>)
- 交 通： JR山口線山口駅より徒歩20分、または美術館前バス停より徒歩10分
(<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/sys/frame/frame-1.htm>)
 - ◆ 東京・大阪方面からの交通案内等は、4ページをご参照ください。
- 懇親会費： 5,000円
- 申込方法： 事前申込制とします。当日参加はご遠慮ください。
次の事項を明記して、下記までに、はがき、ファックス、または電子メールにてお申し込みください。
 - ◆ 氏名(ふりがな)、所属、懇親会参加の有無、宿泊斡旋希望の有無、オプションツアー参加の有無
- 申 込 先： 〒321-3295 宇都宮市竹下町908
作新学院大学 司書・司書教諭課程 小黒 浩司
電子メール：oguro@sakushin-u.ac.jp
ファックス：028-670-3671
- 申込締切： 2008年1月31日(必着) でお願ひします。
- プログラム
- 13:00- 受付開始
- 13:45-14:00 開会挨拶
- 14:00-15:00 特別講演
- 15:15-17:15 研究発表

【特別講演】

河井 弘志(かわい・ひろし 本研究会名誉会員)

- 講演題名

図書館の歴史と現在

- 講演要旨

私たちは、なぜ図書館の歴史についての知識が必要なのか、という問いにたいする答えをもたないままに、趣味的、現実逃避的な気持で図書館の歴史を調べることが少なくない。歴史と現在という歴史哲学の根本問題に踏み込まないまでも、図書館という限られた領域のなかで、歴史と現在がどのようにつながっているのかを、素人なりに考えてみたいと思う。

【発表1】

○ 発表者

田澤 明子（たざわ・あけこ 山口県立山口図書館資料情報課主幹）

○ 発表題名

『出納所論』に見る実践の図書館人・田村盛一について－佐野館長時代の山口県立山口図書館に始まる足跡を辿って

○ 発表要旨

田村盛一（1893-1970）は明治41（1908）年、15歳で山口県立山口図書館に出納手として採用されて12年間、佐野友三郎館長の下で山口図書館の隆盛期を支えた。正に佐野の通俗図書館学校の弟子とも言える田村は、佐野の死を契機として山口を去った。沈黙を破り、図書館に関する論文を書き始めたのは青年図書館員連盟での活動からである。『出納所論』を中心に、発表論文等の資料から田村の図書館サービス論を探る。

【発表2】

○ 発表者

上野 善信（うえの・よしのぶ 山口県立山口図書館事業推進課主査）

○ 発表題名

伊藤新一（元明木村立図書館長）に関する一考察～間宮不二雄に『生まれながらの司書（a born librarian）』と言わしめた図書館人～

○ 発表要旨

伊藤新一の図書館との関わりは、明木村で図書館設置許可を受けた年（1906）からである。図書館の手ほどきをした香川政一、物心両面で支えた滝口吉良（明城）、理論的支柱の佐野友三郎、青年図書館員連盟（L.Y.L）会員等との影響は見逃せない。戦前期には、図書館普及のために50回を超える講演行脚を全国で行う一方で、予算が乏しい明木図書館の資料充実に努力を傾注している。地元での人間関係や残された資料を通して、図書館への情熱を支え続けた彼の図書館観を考察する。

【発表3】

○ 発表者

福永 義臣（ふくなが・よしおみ 前九州国際大学教授）

○ 発表題名

伊東新一と『図書館』－L.Y.L.との関係を中心に－

○ 発表要旨

L.Y.L.の図書館界に対する貢献は三大ツールなどのテクニカルな面ばかりではない。図

書館の教育機能、わけても学校図書館の重要性を認識し、その指導：図書館的訓練、さらには改革についての意見や建言をなしている。それはJ.L.A.の答申や建言に勝るとも劣るものではない。

昭和期に入って館界の永年の悲願であった『図書館』の教科書教材化（第四期国定教科書）が実現した。しかし、館界の『図書館』に対する反応は賛否両論があった。

本発表では『図書館』に至る経緯とその背景及び伊藤新一『図書館』関係文献に基づいて、『図書館』に寄せられたL.Y.Lの声を中心に考察する。

【発表4】

○ 発表者

小川 徹（おがわ・とおる 本研究会名誉会員）

○ 発表題名

法政大学図書館所蔵「佐野文夫文庫」中の佐野友三郎旧蔵書について

○ 発表要旨

法政大学図書館にこの文庫が受け入れられた経緯、そのなかにわずかながら父親・友三郎旧蔵の図書館と書物関係の本がある理由、その洋書をどのように佐野友三郎は読んでいたのか、を考えてみます。

17：15-17：30 閉会挨拶

18：15-20：15 懇親会

- ◆ 会場： 山口市湯田温泉「割烹 きむら」
山口市湯田温泉 3-3-13

(<http://www.h-kotobuki.net/kimura.html>)

Tel 083-922-3800 Fax 083-921-0260

- ◆ 懇親会場へは、タクシーで移動します。所要時間は15分程度です。

宿泊の斡旋について

今回の例会については、宿泊の斡旋を行いません。なお、懇親会会場とホテルは同じ場所です。

○ 斡旋宿泊先 プラザホテル寿（山口市湯田温泉 3-3-13）

(<http://www.h-kotobuki.net/index.php>)

□ 083-922-3800 Fax 083-921-0260

○ 宿泊料金 素泊まり 5,400円、朝食付き 6,400円

宿泊の斡旋を希望される方は、例会の申込とあわせて、事務局までお申し出ください。直接ホテルに宿泊の予約をされた場合、上記の特別価格は適用されませんので、ご注意ください。

オプションツアーのご案内

上記第3回例会の翌日に、山口県立山口図書館、ならびに山口県文書館の見学会を行います。あわせてのご参加を期待します。

1. 日 時： 2008年3月2日（日） 午前10時～12時
2. 場 所： 山口県立山口図書館、山口県文書館
3. 内 容： 県立山口図書館の書庫、文書館の書庫、歴史的な図書館用品などの見学
4. 集合時間： 午前9時50分
5. 集合場所： 県立山口図書館玄関前
 - ◆ 宿泊先から県立山口図書館までの移動方法については、現在検討中です。

◎ 会場への交通案内

2008年3月時点のダイヤが不明の路線があるため、この行程は現時点のダイヤに基づいております。切符のご手配の際はご注意ください。

◆ 飛行機を利用する場合

東京羽田空港－（飛行機）－山口宇部空港－（特急バス）－JR新山口駅－（JR山口線）－JR山口駅

	東 京	山口宇部	新山口	山 口
ANA 691	6:50	8:30 8:50	9:24 9:36	9:56
JAL1643	7:35	9:10 9:25	9:59 10:14	10:28
ANA 693	10:05	11:45 12:00	12:34 13:02	13:16 (※)

(※特急スーパーおき4号を利用)

◆ 新幹線を利用する場合

東京－新大阪－新山口－（JR山口線）－山口

	東 京	新大阪	広 島	新山口	山 口
のぞみ5号→新大阪、もしくは広島で、下記ひかり455号に乗換え	6:50	9:27 9:29	10:52		
ひかりレールスター455号→新山口で山口線普通列車に乗換え		9:35	11:09 11:10	11:43 12:10	12:26
のぞみ11号→新山口で特急スーパーおき4号に乗換え	8:13	10:49 10:51		12:53 13:02	13:16